

JR東海労の職場要求が実現！！

パン点検通路の蛍光灯が修繕される！

私たちは半年以上前から「名古屋車両所の庫3番線パン点検通路の1号車から9号車の蛍光灯が全不点灯しているため、暗くて作業に差し支えるから修繕して欲しい！」と、現場管理者に修繕要求を申し出ていました。しかし、現場管理者からは「よし、わかった」という返事のみで、なかなか修繕されないために、分会は地本を通じて職場要求を申し入れました。

2月24日、地本と関西支社間の業務委員会が開催され「名古屋車両所の庫3番線パン点検通路の1号車から9号車の蛍光灯が全不点灯している」ことが問題となりました。早速、24日の夜に現場管理者が、庫3番線パン点検通路を調査・点検に現れ、3月1日には庫3番線パン点検通路の1号車から9号車の蛍光灯が修繕されていました。

現場の社員からは「今までと違い、目が痛いほど明るい」、「明るくなって、仕事がしやすい」、「これまでは、屋根上作業が暗くて危なかった」という意見が出てきています。

日夜、職場で額に汗して働く組合員のみなさん！

会社は、夢のリニア中央新幹線建設に投資するために、節電・節約・削減をいままでも以上に、現場の社員に経費節減を強制・強要してくることは明らかです。

**私たちJR東海労は、職場で働く社員の
労働条件や安全・健康を守るために、労働組合として取り組みます。**